

一般質問

# 区政をきく

## (一般質問)

平成27年第3回定例会では、区政全般について、9名の議員が一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。



新妻さえ子 議員(公明)

### 障がい児・者の福祉の向上について

①障がい児の発達相談のニーズ増加に対応するための場の確保等は、②品川児童学園は平成28年度から改築されるが⑦定員拡大による療育の利用者増の見込みは、①土曜日クラス実施の見通しは、②教育との連携について、相談や療育の一貫した支援体制への考えは、③心身障害者福祉会館の移動型磁気ループについて⑦貸し出しの周知を、①館外まで貸し出し範囲を広げては、②受信機となる補聴器等の貸し出しを、④28年4月より障害者差別解消法が施行されるが⑦区職員に研修の実施

を、①区役所の更なるユニバーサルデザインの推進を、②郵便物にファックス番号を明記するなど合理的配慮からきめ細かい対応を、③狛江市では知的障がい者等に対し障がい者団体がわかりやすい選挙公報誌を作成し、投票の推進を図った。区でも団体と連携しながら、わかりやすい選挙公報誌の作成に取り組んでは、**区長** ①昨年、戸越ルームを開設し、より多くの相談を行えるようにした。②新施設では、児童発達支援の対象に肢体不自由児も加える予定だ。③対象を拡大し、共働き家庭の子の支援も視野に入れている。④今後も切れ目のない支援が行えるよう、教育総合支援センター等との連携を深めていく。⑤アイトウ区における合理的配慮の基準を設けるとともに、職員の障害への理解の向上や各職場におけるきめ細かな対応に努めていく。

**選挙管理委員会委員長** ⑤選挙公報以外の候補者情報の作成は、障害者団体等が選挙の公正を妨げない範囲で行うものと考えている。選挙管理委員会としては、障害者の投票環境の向上に努めていく。**自転車の安全対策について** ①自転車レーンやナビマークの設置について⑦設置状況は、①安全対策の効果は、②今後の対策は、③細かい生活道路では自転車の通行に危険な箇所がある。対策を、④八潮団地内の自転車レーンは、水色の幅の狭い部分を通るといふことではなく、矢印の方向に走るとの意味合いだが、周知が徹底されていない。安全に走行できるように⑦対策等を、①矢印のみで方向を示すなど状況に応じた設置の検討を、④講習会等で自転車ヘルメットの普及促進を、⑤児童等ヘルメット着用を推進する糸口として、まずは多子家庭への購入助成金制度の創設を。**防災まちづくり部長** ①約62キロメートルの自転車走行レーン等を整備している。②立会道路の自転車走行レーン整備後のアンケート調査で効果を確かしている。③27年度に実施する調査により、レーンの設置が可能な路線を抽出し、主要幹線とのネットワーク化を基本に検討していく。④ナビマーク等のハード対策と交通安全の啓発をあわせて実施していく。⑤今後も機会があるごとに周知に努める。⑥八潮団地内の区道のバリアフリー工事では、路肩のカラー化を基本とし、必要な箇所には矢印を表示するなど、引き続き交通安全対策を行っていく。⑦親子自転車安全教室等でヘルメットの着用を含めた交通安全の啓発を進めている。⑧ヘルメットは自ら用意

すべきものと考えている。**観光資源を活かした立会川駅周辺と花道の賑わいづくりについて** ①坂本龍馬像や再現された浜川砲台を活用し、旧東海道を北品川から鈴ヶ森刑場跡までつながりを持たせるような新観光ルートづくりを提案する



石田 秀男 議員(自・未)

### 区政運営について

①区長の3期目におけるチャレンジの考えは、②自治体の長として品川区をどのように運営していくのか。③組織改正で事業部から部制に変えたが⑦狙いは、①評価は、②積極的な組織連携が重要では、③積極的な政策提案には、人・もの・金の予算をつける等の体制整備が必要では、④政策実現のため、企画部が横の連携を図る必要があるのでは。**区長** ①積極的な施策を推進する。②任んでよし、訪れてよしのまちづくりに向け全力を傾注する。③7よりきめ細やかでスピード感ある対応ができる組織として再編した。④順調な滑り出した。⑤本部制やPTを組み、組織横断的な連携を図っている。⑥必要な施策には予算を多く投入するなど迅速な施策を可能とする対応も図っている。⑦積極的な支援や調整をさせている。

るが、見解を。②しながら花海道を生かした水辺観光ルートの開拓を。**文化スポーツ振興部長** ①歴史的資源の有効活用を図ることの重要性を認識しており、観光協会を通じて、まち歩きパンフレットを発行している。②観光アクションプランの改定作業を通じ、より魅力ある水辺空間の創出を検討する。

た複合施設の計画的な整備を。**福祉部長** ①地域との連携・協働による課題解決に向けた取り組みを行ってきた。②増大する高齢者にきめ細かく対応するための仕組みづくりを検討している。③高齢者に対しては、必要なサービスを適宜適切に提供することを念頭に施策を展開する。④平成37年を見据え、地域で高齢者を支える地域包括ケアシステムを構築する方針とした。⑤関係各課と連携し介護予防等の充実に努める。⑥地域での交流が活発となるよう努める。⑦医療・介護等が様々な担い手との連携により、一体的に提供される仕組みの構築を推進している。⑧区独自の体制を構築しており、ICTを活用しリアルタイムな情報共有をめざす。また、民間住宅介護支援事業所と連携し、機能強化に取り組む。⑨他自治体の取り組み等を注視する。⑩杜松地域密着型多機能ホームの運営状況を踏まえ検討する。**子育て支援について** ①危険水域にある特殊出生率をどう捉えるのか。②しながらネウボラネットワークの中で切れ目のない支援体制の早期事業化を。③保健師と子育てケアマネジャーが一緒に作成する子育てケアプランの事業化を。④オアシスルームの増設を。⑤利用時間の制限緩和を。⑥ママのためのコワーキングスペース等の確保が必要では、⑥「ママ活」に参加している方等への支援を、**子ども未来部長** ①将来的に見込まれる人口減少を見据えた対応が必要と認識している。②産前産後サポートの仕組み等を具体的に検討する。③出産・子育て応援事業の1つとして今回の補正予算で上程した。④アイトウ区に活用していただく。⑤自主グループへの支援事業を活用していただきたい。⑥女性の社会参加の多様化に対応した施策を検討していく。

**次回の区議会だよりは新聞折り込みでお届けします**

次回、平成28年1月1日発行予定の区議会だよりは、新聞折り込みでお届けいたします。また、平成28年1月4日から11日までは品川区内の駅の広報スタンドにも置いてありますので、ご利用下さい。

区議会だよりは区議会ホームページからもご覧いただけます。

品川区議会 検索

学校支援地域本部事業について

①学校支援地域本部事業を行ってこなかった理由は、②地域と連携し、早期に事業を実施していくべきでは。**教育長** ①当該事業はプラン21と共通の内容も多く導入しなかった。②浜川中学校区の取り組みをもとに検討する。